



カーナビゲーションシステム (Alfa Romeo 右ハンドル車専用キット)
 カーオーディオシステム

AR940A2D12A

取付キット取付説明書

販売店様へ
 取り付け作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しく下さい。

株式会社ピービー © http://www.pb-jp.com
 〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井3-4-29

商品お問い合わせ先：大阪オフィス support@pb-jp.com
 〒561-0841 大阪府豊中市名神口3-7-3
 TEL.06-6335-0805 FAX.06-6335-0807



もくじ

構成部品 主な仕様 P1	取付・接続のしかた その2 P4
安全に正しくお使いいただくために P2	取付・接続のしかた その3 P5
取付・接続のしかた その1 P3	取付・接続のしかた その4 P6

本取付キットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

取り付けの前に、この取付説明書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。取り付け全般に際し、取り付けるシステム本体に付属の取付説明書も必ずご覧ください。

正しい接続で使用しなかったり、お客様の改造により発生した故障や事故については、当社として一切責任を負いかねます。

※車両の仕様や装備によっては、本取付キットが適用できない場合があります。取り付けの前に車両の仕様や装備をよくご確認の上、作業を始めてください。

※取り付けの製品と車両の組み合わせによっては取り付けできない場合があります。

※純正CDチェンジャー、純正携帯電話ハンズフリー、ステアリングのオーディオコントロール、マルチファンクションディスプレイのオーディオ項目は機能しなくなります。(装着車のみ)

※純正オーディオに付随する機能は、ご利用できなくなる場合があります。

適用グレード

ジュリエッタ ABA-940*** 2012/2 ~ 2014/05 ディーラー車

※本製品は、右ハンドル車専用キットです。

※本製品はダッシュボード化粧パネル、オーディオフレーム、エアコンルーバーの切り取り加工が必要となります。

※ノーマルスピーカーシステム装着車専用取付キットです。

※BOSEサウンドシステム装着車の場合は、別売りのSSレベルアダプター(ATT-4BMA)をお買い求めください。

※カーナビゲーションを取り付けする際、START&STOPシステムの再始動時に、取り付けの製品によっては、再起動する場合があります。(装着車のみ)

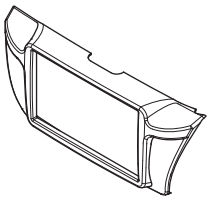
※車速信号及び各種信号の取り出しには、別売りのCANバスアダプターのご使用を推奨します。

※ステアリングのオーディオコントロール、マルチファンクションディスプレイのオーディオ項目は機能しなくなります。

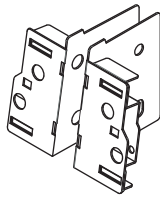
※車両の仕様や装備によっては本製品が取り付けできない場合がございます。

※上記記載の年式でも必ず車両のパネル形状をご確認ください。

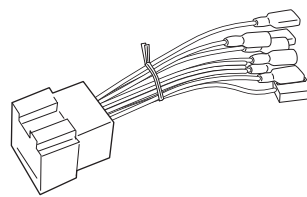
キット構成部品をご確認ください。(作業前に構成部品が揃っているか確認してください。)



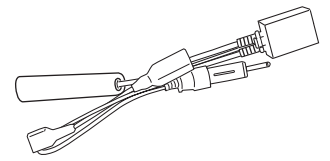
●2DINフェイスパネル x1



●2DINブラケットL/Rセット x1



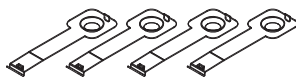
●電源・スピーカーハーネス x1



●ラジオアンテナ変換コード x1
 (ISO⇒JASOファントムタイプ)



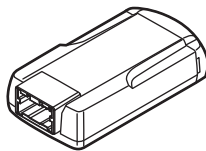
●ラジオアンテナ変換プラグ x1



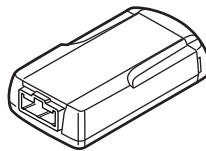
●フェイスロックプレート x4

別売りオプションキット

CANバスアダプター (BIF-FT15L)



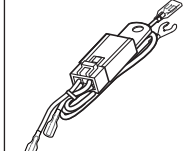
SSレベルアダプター (ATT-4BMA)



ステアリングリモートコントロールオプション (SRC-HL3)



パワーリレーオプション (PRY-A20)



適用サイズ

※ノーズサイズは W175mm×H97mm まで対応ですが、ノーズ開閉タイプの場合、ノーズ開閉時にパネルと干渉する場合があります。

※本キットはトレードイン専用です。アドオン取付は出来ません。

2DINサイズ
 一体機

1DINサイズ
 1DINサイズ

※本取付説明書の記載の内容は、調査時のデータに基づいて作成されています。調査後に車両変更、車種追加などで取付情報に変更になる場合がありますのでご注意ください。
 ※本取付説明書に記載の内容および仕様は、改良のため予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。また本取付説明書の一部または全部を無断で転用・転載することを禁じます。
 ※ FOR SALE IN JAPAN ONLY

安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告

- 本品はDC12Vアース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本品を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することが無いよう注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して、機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用すると、制動不能や、発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス端子をはずす。プラスとマイナス経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープなどでまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。
- 機器を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に機器の取り付けと配線をしない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- 視界や運転の妨げとなる場所へは取り付けしないでください。交通事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入りたりして怪我や失明の原因となります。
- 接続したコードや使用しないコードの先端など、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁する。ショートにより火災、感電の原因となります。

注意

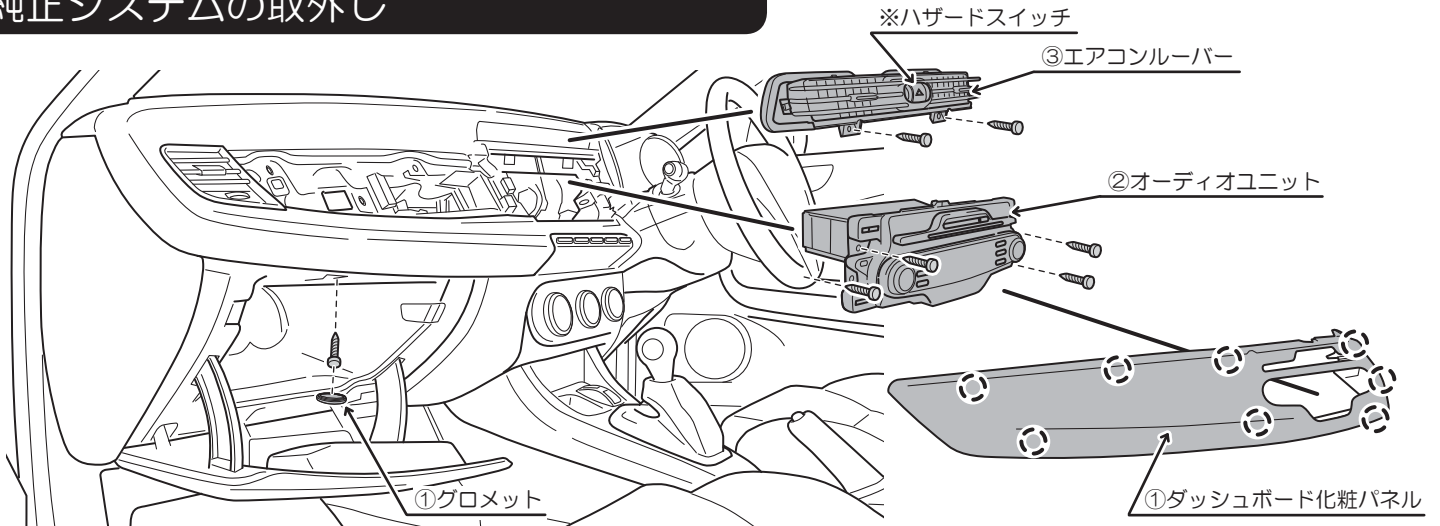
- 本品の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したりしっかりと固定できず外れることがあります。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多い場所への取り付けは避けてください。機器に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 直射日光やヒーターの熱風が直接当たるところなどへ取り付けしないでください。機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。
- 機器の通風孔や放熱板、ファンをふさがないでください。通風孔や放熱板、ファンをふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定されたとおりに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 機器の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- 本品を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

取付・接続のしかた その1

⚠ 注意

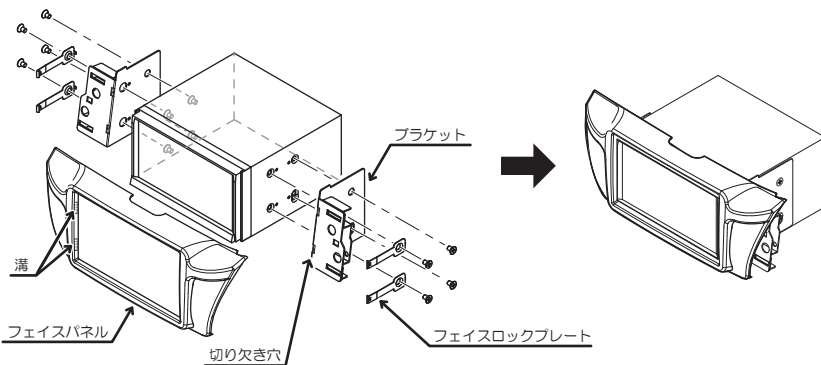
- 取り外し、取り付け、加工の際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- 車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

純正システムの取外し



- ① グローブボックスを開けゴム製のグローメットを外し、ビス1本を緩めダッシュボード化粧パネルを取り外します。(勳合クリップ 印8ヶ所)
 - ② 純正オーディオユニットのビス4本を緩めて手前に引き出し、コネクタを外して取り外します。
 - ③ エアコンルーバーのビス2本を緩めて手前に引き出し、コネクタを外して取り外します。
- ※ ハザードスイッチのコネクタが外れにくい場合は、ハザードスイッチを手前に引き出してからコネクタを取り外します。

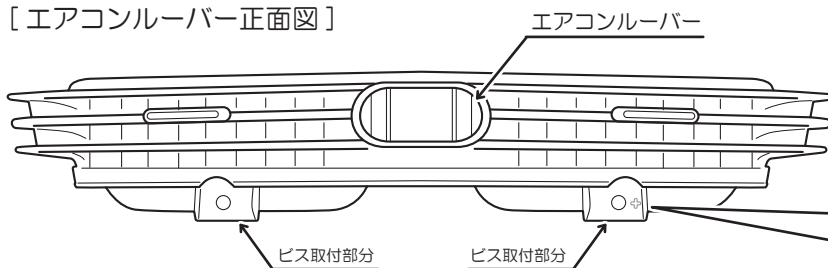
ブラケットの組み立て



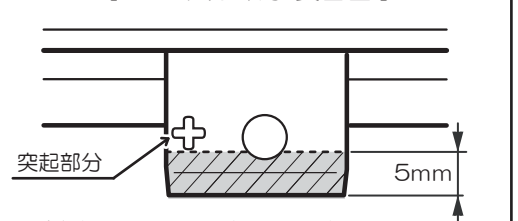
- ① 取り付けるシステムに付属の皿ビスを使用してブラケットとフェイスロックプレートシステムに固定します。
※ 固定にはトヨタ車用のネジ穴を使用します。
- ② フェイスパネル裏面の溝 左右2箇所フェイスロックプレートの先端フック部を挿し込み、フェイスパネルが固定されることを確認します。
※ 車両への組付け時、フェイスパネルは一旦取り外します。

エアコンルーバーの加工

[エアコンルーバー正面図]



[ビス取付部分 裏面図]



- ① エアコンルーバーを裏側から見て、ビス取り付け部分の横にある突起部分から下側の斜線部分、約5mmを切り取ります。

突起部分から下5mmを切り取ります。
※イラストは右側です。左側も同様に切り取ります。

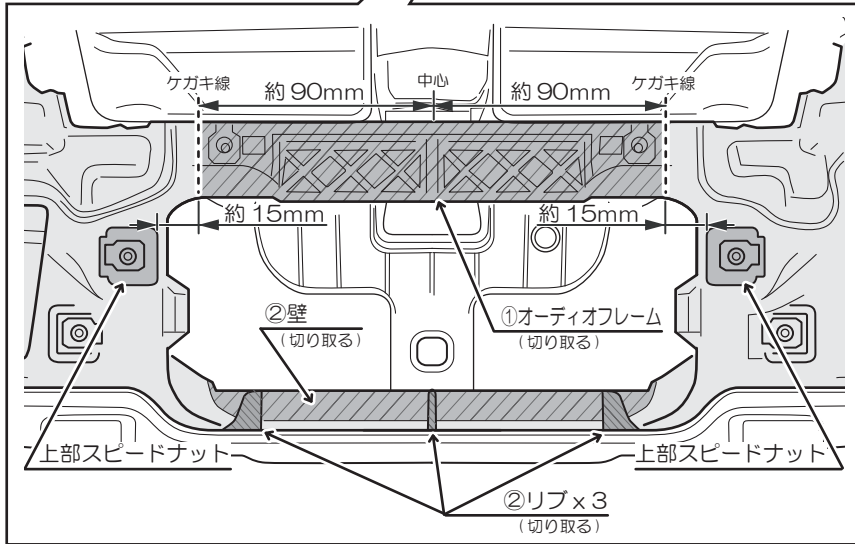
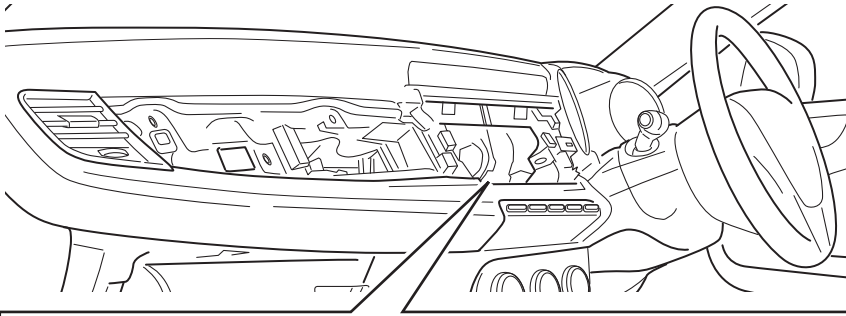
👉 **アドバイス** 5mm以上切り取るとエアコンルーバーが、固定できなくなりますので注意してください。

取付・接続のしかた その2

⚠ 注意

- 取り外し、取り付け、加工の際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けたくないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。
また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- 車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

オーディオフレームの加工・取付



<オーディオフレームの加工>

- ① 純正オーディオユニットを固定していた、上部スピードナット台座部分から約15mmを目安にし、エアコンルーバーを固定していたオーディオフレームにケガキ線を入れます。

ケガキ線が、オーディオフレームの中心より左右に約90mmずつ、全体で180mm～182mmの幅になっていることを確認し、斜線部分を切り取ります。

👁️ アドバイス

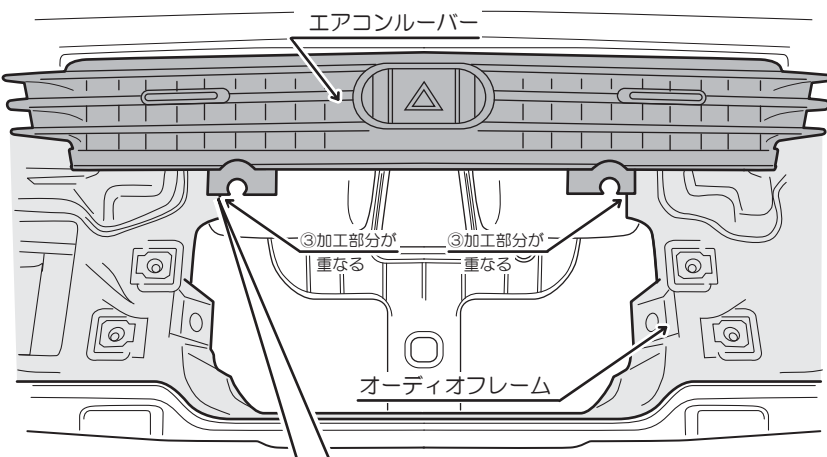
全体で182mm以上切り取るとエアコンルーバーが、固定できなくなりますので注意してください。

- ② オーディオフレーム下側のリブ3箇所と壁の斜線部分を切り取ります。

<エアコンルーバーの取付>

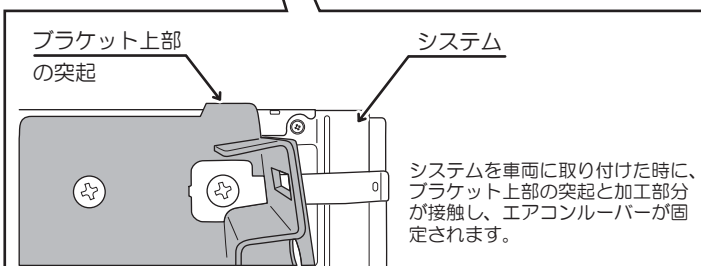
- ③ 加工したエアコンルーバーを取り付けます。
この時エアコンルーバーの加工部分とオーディオフレーム上側の加工部分が重なっているのを確認してください。

※ エアコンルーバーを固定していた、ビス2本は使用しません。



👁️ アドバイス

ブラケットが加工したエアコンルーバーとオーディオフレームに干渉する場合、ヤスリ等で削ってください。



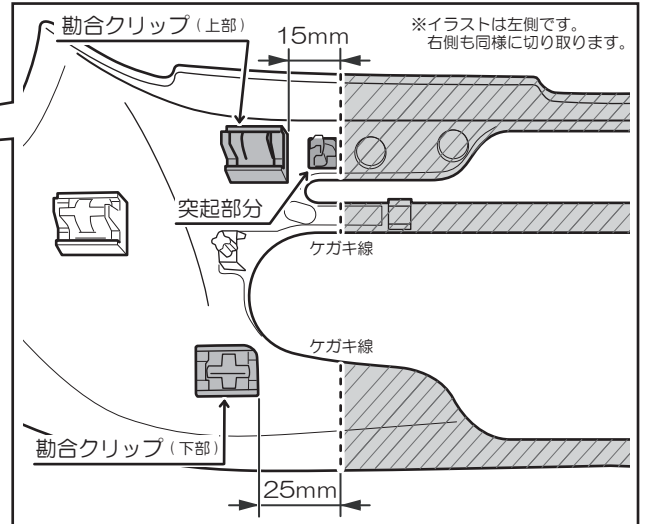
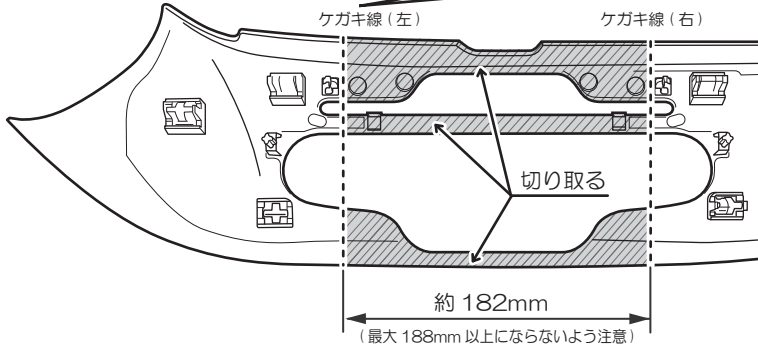
取付・接続のしかた その3

⚠ 注意

- 取り外し、取り付け、加工の際には車両部品や取り付ける機器に傷を付けないよう、予め保護テープを貼るなど十分注意して作業を行ってください。また、パネル、ハーネス、その他車両の取付部品の破損、車両の故障等の賠償につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。
- 車両の仕様やグレード、排気量などにより掲載情報が該当しない場合があります。

ダッシュボード化粧パネルの加工

[ダッシュボード化粧パネル裏面図]

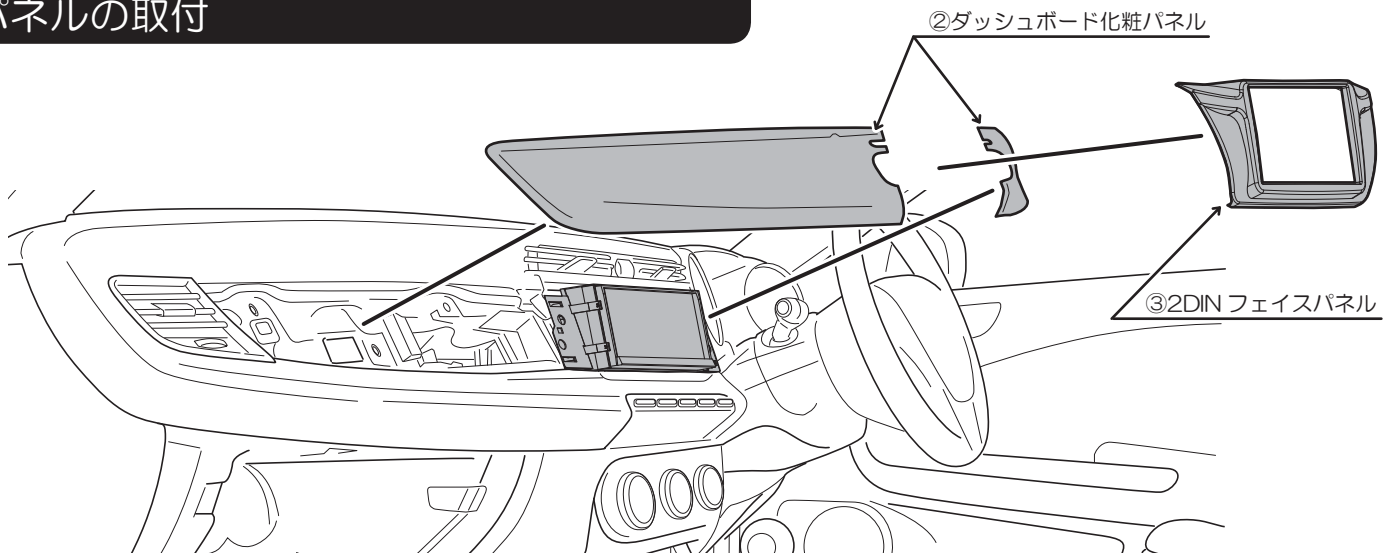


- ① ダッシュボード化粧パネルの裏側上部にある勘合クリップ左右の台座から内側 15mm の場所 左右 2箇所 に印を付けます。(突起部分の内側)
- ② ダッシュボード化粧パネルの裏側下部にある勘合クリップ左右の台座から内側 25mm の場所 左右 2箇所 に印を付けます。
- ③ ①と②の作業で付けた上下の印を通過するように、ケガキ線を引きます。
- ④ ケガキ線 (左) からケガキ線 (右) の幅が、約 182mm になっていることを確認し、斜線部を切り取ります。

👁️ アドバイス

ダッシュボード化粧パネルの切り取り幅が、最大で 188mm 以上にならないよう注意してください。

パネルの取付



- ① システムとブラケットを組み立てた状態で車両に仮固定します。
 - ② 加工したダッシュボード化粧パネルを車両に仮固定しているブラケットに、取り付けます。
- ※ 加工したダッシュボード化粧パネルと取り付けられたシステムのノーズ部分が干渉する場合、ダッシュボード化粧パネルをヤスリ等で削ってください。

👁️ アドバイス

ダッシュボード化粧パネルの開口部分が、付属の 2DIN フェイスパネルに隠れることを確認しながらヤスリ等で削ってください。

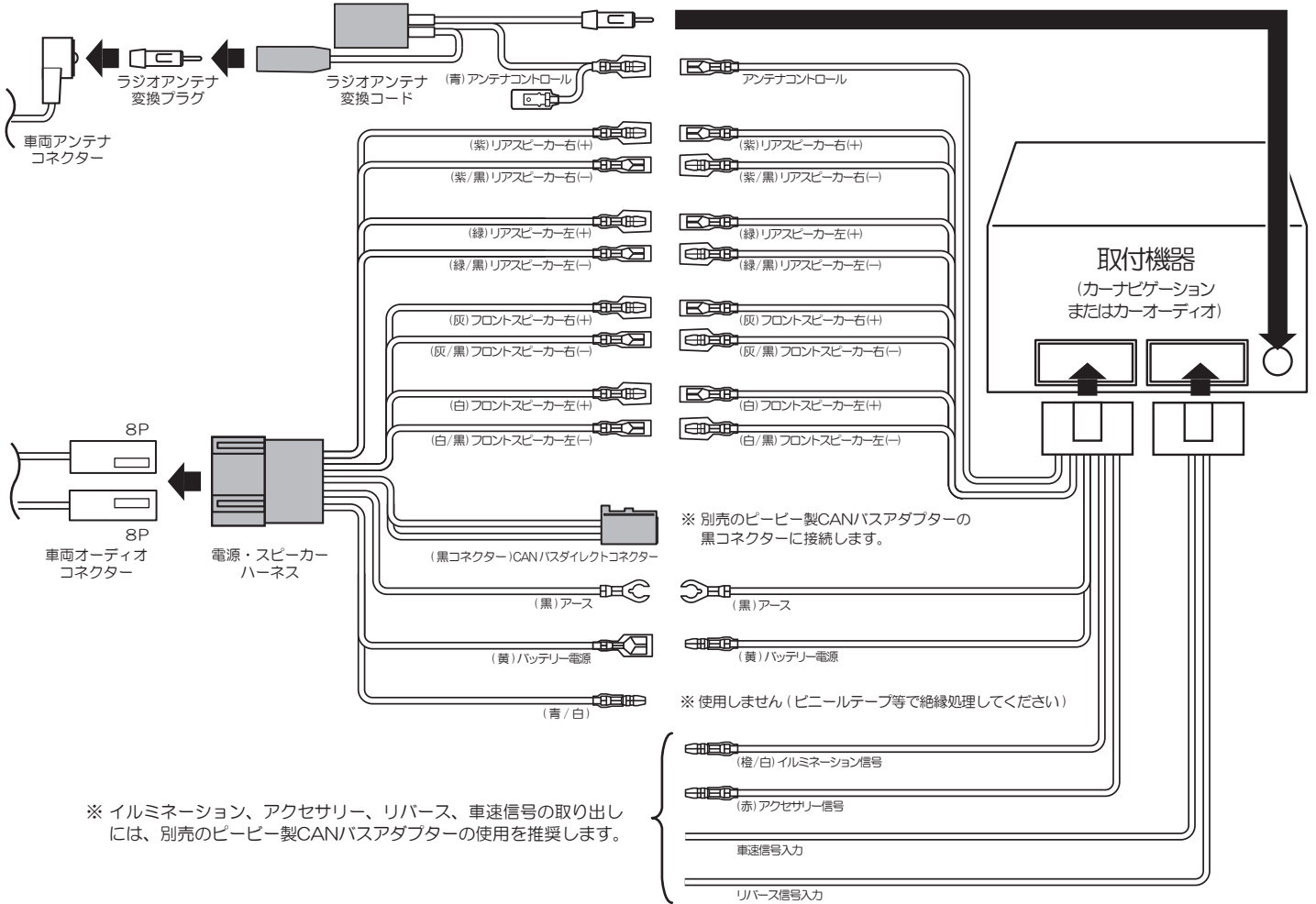
- ③ 2DIN フェイスパネル裏側の溝 4 箇所 にフェイスロックプレートの先端フック部を差し込み、固定します。
- ④ パネル類の仮組みが確認できたら、パネル類を一旦取り外し、6 ページの“取付・接続のしかた その4”を参照し、車両ハーネス類を接続後、ダッシュボード化粧パネルなどを組み付けます。

取付・接続のしかた その4

⚠ 注意

- 取り付ける機器の合計消費電流が、車両ハーネスの許容消費電流値を超えないよう、取り付ける機器の仕様をご確認の上、作業を行ってください。
- 車両配線図を参照のうえ、必ずテスターで確認してから接続して下さい。

電源・スピーカー・アンテナコードの接続



BOSE サウンドシステム装着車スピーカーコードの接続

BOSE サウンドシステム装着車に取り付けられる場合は、SS レベルアダプター(別売)を使用し、下図の接続作業をおこなってください。

